

の闘争といふことを直に大衆的組織の上の対立と混同せんとする錯誤である。かゝる錯誤は宗派分裂主義となり又は左翼的分裂主義をして乗せしめる原因をなすつゝある。事實我が無産階級運動は永くかゝる錯誤に禍され来つてゐる。今後、我々が此の錯誤を克服してゆくためには、組織上の対立を可及的速かに取り去らなければならぬ。本提言は以上の立場から出發して、親下の無産政党統一に対して次の二案について我々の方針を決定せんとするものである。

- 1 無産政党統一に対する我々の態度
- 2 無産政党統一のための具体的方策

◇決議の内容 昨年度第一回全国大会はその宣言に於いて過去の我が無産階級戦線統一の運動を批判しその失敗の原因を『日本の社会的現状に適應せる指導精神の確立なき、統一運動は一個の夢想に均しきを立証せるものである』となし飽く迄も階級的立場を嚴守し指導精神確立のために闘争すること、統一戦線のために闘争すること、は分離すべからざるものなることを明かにした。今後如何なる情勢の變化に起るにせよ(例へば単一無産政党実現の後と雖も)支配階級の分裂政策は手をかへ品をかへて加へられ、また、味方の陣営に於いても、或は小兒病或は左翼分裂主義